

夕刊 東北日報

本紙一月二角 郵税二角五分 印刷費一角五分 廣告料一行五錢 發行所 仙台市本町一丁目 電話 七〇七

復讐なる社會相の過ぎの中... 緊張した近代人はあまりに其の生活に疲れ切つてゐる。

噂から出て来る 平町議の顔振れは

新顔だけでも立派に 五十名を突破する

六十日の間に直向した平町... 町議選は普通第一回の開選に...

長橋、新川町間の 新川を川巾五十尺に

櫻は郡役所側を保存し 南側を伐採して擴張

町花の名所の一つである... 新川堤の櫻は河川改修の爲めに...

平町の 七ツ屋銀行

流れの多いに驚く... 庶民銀行といはれる質屋は十町に...

大敷網最後のわざ 貸借契約確認の辨論

金蘭家具類から中には現在着てゐる衣類までも投げ出す...

平町青年訓練所は 成績大いに振はず

原因は矢張り經濟關係で... 入學期を控へ幹部面喰ふ...

平町に於ける青年訓練所は 成績大いに振はず

四月一日の入所期を控へ... 力勸誘旋する事に定めた...

自宅に縊死

今朝午前五時頃... 平町仲町居住相澤庄次郎...

十六區の分團旗

平町十六區(柳町)では... 青年分團に八十余團を投げ...

意見の一致を見た 行政區長の被選舉權

立候補前に名譽職を... 辞職すれば差支なしと...

無許可で 川砂利採取

監督所嚴重取締る... 内務省並に縣において管理...

財務主任會議

平町財務主任會議... 四月二十日同署樓上...

産業組合の 表彰式

今朝午前五時頃... 産業組合石城郡では郡内...

良いぞ! 賣行は

ふところ具合は... 平の肉屋さん悲観...

を吹さ飛す

栃木、の高橋辰雄... 東京市小石川區白出生れ...

意見の一致を見た

立候補前に名譽職を... 辞職すれば差支なしと...

波浮の港

原作者 川口松太郎
脚色者 小林正
監督者 木藤茂
主演 徳川良子
竹久新
東勇路
澤蘭子

その翌日晴れ渡つた群青の漁村を前に孝二がカンバスを立てた所は皮肉にも波浮村とは敵同志の野増村であつた、その村に咲いた一輪それは美しいみどりであつた。若い二人は憎しみを越えて自然の戀が芽生へた。二人は波浮の港の御神燈の

帝都からの巡航船がいま波浮の港に着いた、その甲板然し俊二には既に彼を思つたの上に立つて涙ぐんでゐる。若人、それは何年か前幼きつた、俊二とみどりの激しき思ひ出を残して獨り東京へい想は二人をかつて遠い東繪を學びに出た俊二であつた、そこへ兄の俊平が迎ひに來てゐた。

幾年振りかで兄弟は睦じく小舟の中、鵜の鳴く磯に近づいた時、かねて波浮の港が野増の村の感と漁場のことからいひ合情の和らぐ時は來た、美しつてゐる野増村の漁船と突し二人、戀人は全村の人達に祝福され、がらしくも俊二は兄の口からこの平和鹿島立して行くのであつたな漁村にも不安な空氣のあ

理想的な蒸氣洗濯!

洗濯物なら……
迅速……丁寧……確實を……
モットーにする!

平町前白銀町通りの
平ランドリー洗濯店へ

平町前白銀町(縣社通り)
宴會席の設備あり
小宴會 歓迎す

美味で評判の
イブキ會堂
電話四六〇番

二十九日替り 巨彈 巨彈

帝キネ現代劇 里見明 吉田豊作 主演

未來の大臣
濱田格 中村獅歌平 助演

マキノ特作 壽々喜多呂九平原作

仇討制度
實川善雁主演 根岸東一郎 大林梅子 助演

米國メトロゴールドウヰン映画
原作 トーマスハーデー翁

受難のテス
悲劇
ブランテヌウイット嬢 主演

大帝キネ超特作 松本田三郎 二役主演

喜八と稻葉小僧
奇傳
實川延松 嵐璃徳 松枝鶴子 尾崎靜子 助演

歌米映画自由撰 マキノ
有聲座
金十錢 優待券御利用下さい

電話開通披露
支那料理の御注文は……

電話七五九番へ
安くて……おいしい

華香亭
南町中ノ湯前

出前持は迅速親切をモットーです

祝創刊

福島縣立回春園

川井重之

進級學生靴景品附大特賣

御用命は……一直線に大塚へ!
 中學校……通學靴
 女學校……通學靴
 小學校……通學靴
 豊富に而も廉價に實用品を揃へて居ります
 御來店をお待して居ります
 各學校御用 大塚支店
 製靴部 運動具部
 平町田町 電話七〇二番

魚清

魚がしの壽司と天金の天ぶらが
平二丁目……
……で食へる
平館際 電六三三番

高級車貸切

小名濱 上遠野
入遠野 東白河郡
大原 平 行
……貸切乗合……
湯本驛前

高岡自動車部
電話五七番

洋服の御用命は

是非……田町の
大崎(電七二二三)へ
御問合せ下さい

油醬と味噌

福島縣平町
山崎合名會社
電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話(下谷)五七二二番
振替東京六八三二二番

材木店

平町五丁目
店主瀧口豊

仁壽生命

日本最高の利益配當ある
昭和三年度 最高四割五分
配當率 最低四分五厘
外務社員數名招聘
仁壽生命保險株式會社
平監督所
平町大字六番地

生徒募集

産婆看護婦
立平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ
電話三〇七番